クラシック音楽の
正しい鑑賞法
■12■

ピアニスト・北海道教育大学岩見沢校准教授
深井　尚子

「悲愴」～ベートーヴェンの苦悩と再生

4月は、新年度が始まり、なんとなくうきうきする時期ですが、新しい生活に戸惑いもあり、不安や心配をしてしまうころでもありますね。今月は、ベートーヴェンの人生についてお話します。ベートーヴェンは、「難聴」だったことが特に有名ですが、他にも親族との確執や慢性的な胃腸病に生涯悩まされました。さまざまな苦悩を音楽によって克服した作曲家といえるでしょう。

ベートーヴェンは、21歳でドイツの小都市ボンから、音楽の都ウィーンに留学し、貴族の手厚い支援を受け、ウィーンという新しい土地でも才能を認められました。しかし、まだ28歳のとき、自分の耳の不調に気がつきます。当時住んでいた住居のすぐそばに教会があり、毎時、時を告げる鐘の音が聞こえないことがあることから、自分の耳が聞こえにくくなっていることがわかったといわれています。

ピアノの名手で、即興演奏に優れ、次々と作品を発表する若きホープであったベートーヴェンは、大きな挫折を感じます。音楽家にとって「難聴」は致命的なハンディとなります。まだ始まったばかりの新天地での音楽家としての活動に大きな不安にさいなまれます。その時に作曲した曲が、「悲愴」ソナタでした。ベートーヴェンは、絶対音楽の作曲家で、作品にほとんど標題をつけることはありませんでした。しかし、いくつかの例外があるのですが、この「悲愴」ソナタがその例外の一つです。

ベートーヴェンは、1798年、このソナタを作曲し、題名を「大ソナタ悲愴」と書いたのです。この曲は、ハ短調という調性で、ベートーヴェンにとって重要な調性で書かれています。ヨーロッパでは、調性に意味を持たせており、「ハ短調」は、苦悩からの再生という意味を持つといわれています。ベートーヴェンは、「運命」交響曲や最後のピアノソナタ作品111などの重要な作品で「ハ短調」を採用しています。

悲愴ソナタは、当時としてはたいへん斬新な構成で作曲されていて、曲の冒頭に「重々しく」と指示されたゆっくりとしたテンポの長い前奏があります。その前奏部分が、まさに「悲愴」で、小さな休符を挟んで慟哭を表現しています。その前奏部分が速いテンポになることを予感させながら終わると、堰を切ったようなスピード感のある第一テーマが現れます。大きな苦悩に深く悩みながら、その苦悩に打ち勝ち、また、再生するという力強さがみなぎった曲想に変わります。この第一楽章ですでに苦悩から立ち直っていることを感じさせます。

この曲は、3つの楽章から成っており、第二楽章は、「愛のメロディ」と後世に名づけられ、今では、CMなどにも取り入れられる、優美なメロディで有名になっています。ベートーヴェンは、耳の不調に気づいたこの最初の挫折から、「悲愴」を作曲することで立ち直ります。

しかし、難聴は刻一刻と悪化し、晩年はほとんど聴こえなかったといわれています。ベートーヴェンは、57年の生涯で、150曲近い作品の作品をかき続けた作曲家でした。諦めないことが、ベートーヴェンの信条だったことがわかります。私にとっても、見習いたい、尊敬する作曲家です。

陽彩随筆

15歳は、すばらしい

堀　利幸

学んだことを暮らしの中で応用する15歳の力。それが国際レベルで公表された。知ったのは、1月の道新でだった。

高校1年生が実生活で自分の知識や技能をどの程度活用できるか、「科学的応用力」「数学的応用力」「読解力」の調査結果が記事になったのである。

経済協力開発機構（OECD。35か国加盟）が「15歳の学習到達度」を2000年以降3年ごとに調査してきた。記事は2015年の結果である。参加者は加盟国以外も含めて72か国54万人。日本からは198校、6600人が参加した。

その結果、日本は「科学的応用力」が2位、「数学的応用力」が7位、「読解力」が8位だった。加盟35か国に限ると日本は科学・数学がともに1位、読解力で6位を占めている。僕はすばらしいと思った。

その後、3月に高校入試問題が新聞に載った。毎年のことだが受験者のほとんどはこんな難しい試験に合格するのだ。入学後は、さらにそれぞれの教科で能力を磨いていく。中には数学オリンピックや地学オリンピックに挑戦する生徒もいる。国内ばかりでなく国際大会もある。国語・物理・化学など教科別のオリンピックがあるのだ。

僕の中学時代は理科室も音楽室もなく、すべての教科を同じ教室で勉強した。高校では数学の公式を覚えて方程式や因数分解など楽しんだが、化学は元素記号、歴史は年号の暗記が主で、何を学んだか記憶にない。

そんなころを振り返りながら、今の15歳は僕の想像を超えたレベルと内容の勉強をしていると知った。しかも今回の記事は暮らしの中での応用力である。どんなことも基本や基礎がないところに応用はない。知識や技能がないと活用できない。学力は必ずしも仕事力と一致しないとも言われる。人工知能は僕たちの想像を超えて仕事の仕方を変えている。

OECDの調査が始められた当時から、日本の15歳はトップレベルにあった。挑戦した年代の人たちの多くは今、どこかの職場にいる。どんな働き方ができているかわからないが、彼らは応用力を発揮できているのだろうか。ふとそんな思いに駆られたのだった。

僧職男子に癒されルーム
■59■

「自分の遺骨は、海にでもまいて欲しい。自分の遺品も、きれいさっぱり全て処分して欲しい。自分のことは、時々思い出してくれればそれでいい」と、この世に何の未練も無く、何だか潔いように聞こえます。

また、「のこった者に迷惑にならないように、葬儀やその後のご供養は、質素に…」という意見も、なるほど、逆に、「自分は親からこのような教育を受けてきたので、子供にもぜひそのような生き方をして欲しい」とか「これは自分の祖父から引き継いだものだから、これからも大事に生きている人の生活が、まずは一番大事だ」なんて思っていたのですが、最近は、先ほどのような「何もしなくても良い」とか「後に残るものの負担にならない程度に…」なんて意見を聞くたびに、「なるほど、そうだ、そうだ」と思えてきました。

うっとうしいほど関わろう

岩見沢・善光寺　大久保　瑞昭住職

なあと思っていました。

受け継いで欲しい」というと、何だか前時代的でうっとうしい感じもします。

わたしも、以前は、「自分の葬式は、後に残った者が、良いようにやってくれれば…」んか違うなあ」と思えてきたのです。

自分の生きてきた証を、全て消し去ることって、自分の生き方は、誰にも影響を与えないで良いし、そのように生きてきたし、最期までそのように生きていきましょう、ということなんだと思うのです。あるいは、自分は死後、見守りたい人も居ないし、そのような関りある生き方をしませんでした、ということにもなりましょう。でも、家族を始め、この世の出会いの全ては、縁であり、有り難い、めったにないものです。「当たり前」ではありません。

健康で生きてこられたのも、仕事を勤めあげられたのも、人との出会いも、全ては「当たり前」ではありません。

この世の全ては「縁」によって成り立ち、私たちもまた、誰かの縁となって、関係あって存在しています。

ですから、わたしも、後に残る人たちに、十分に関わり、わたしの葬儀は、華美にする必要は無いが、恥ずかしくないように、きっちりと勤めて欲しいと、伝えていこうと思っています。

郷土文芸

＝中空知＝

赤平俳句連盟

小春日に背を押され行く検診日　大西　豊
車道まで一人の道の雪を掻く　鈴木　涼風
百までも生きる望みに雪を掻き　木村　千代
転がして転げるほどの雪達磨　吉田知寿子
天へ向け諸手拡げて冬木立
冬の夜や鍛へを忘け腓つる
湯治場に色足袋揃ふ弐参足
生きぬ仲近くて遠し冬木立
冬の海増毛駅より鉄路消ゆ

傷残る倒木あまた冬木立　児玉　佳恵
降り立ちし無人の駅舎冬木立
煮大根真中に残る染まぬ場所　横山　冬青
病む年の余白の多き古日記
語り部の村史を雪に埋らすな　佐藤　雅雄
古希の身をなほ軽くして冬木立
神在りの宮に深々老夫婦　大川水野流
群がりて雀とび立つ冬木立
咳き込むや冬至南瓜も傷み出す　天谷　良華
ペンギンの散歩愛らし冬木立
湯豆腐の躍るを待ちて箸持ちぬ　茂木　末子
舞ふが如風すり抜けて冬木立
通夜の帰路明日来れぬ吾に冬銀河　瓜　郁夫
濃霧おり霜の花咲く冬木立
吹雪やみ卒寿の祝ひ嬉しくて　真鍋　和子

滝川氷原の会

綿帽子にぎやか可憐なナナカマド
この冬や散歩遠のく老いの坂　毎原　雅江
新雪にモミジ一葉浮き出でる
吹雪路を歩むがごとき我が人生　上田　栗子
雪の中サクサク歩く音の道
クリスマス白いガラスに光さす　斉藤　悠
寒い夜落ち葉さらさら踊ってる　毎原はるか
雪道の歩幅小さく深くあり
師走風吹き抜けて行く過疎の村　家納千世子
吊し柿母在るかぎり干されたし
大空に真直ぐ伸び立つ冬木立　神原美智江
ぎいと鳴きぱふっと倒れ冬木立
耳標揺れ枯れ野の果てを牛啼けり　田中たかし
凛と立つ葉を捨てさりし冬木立
煙吐き生きているぞと冬の家　北村　播州
宿の朝膳に影さす冬木立
着ぶくれて戻らぬ齢重ねをり　阿部としお
冬ふかく母のルーペに拾ふ文字
甦る看取りの日々や冬銀河　かなゆきやすこ

本ベスト10

喜久屋書店岩見沢店（4／17～4／23）

単行本

①蜜蜂と遠雷　恩田陸（幻冬舎）
②素敵な日本人 東野圭吾短編集　東野圭吾（光文社）
③こころの匙加減　高橋幸枝（飛鳥新社）
④うんこかん字ドリル 小学１年生　（文響社）
⑤十津川警部 高山本線の秘密　西村京太郎（小学館）
⑥か「ま」く「ま」し「ま」ご「ま」と「ま」　住野よる（新潮社）
⑦君の膵臓をたべたい　住野よる（双葉社）
⑧はじめての北の家庭菜園　大宮あゆみ（北海道新聞社）
⑨2017-18 北海道道の駅ガイド　紺谷充彦（北海道新聞社）
⑩大合格 参考書じゃなくオレに聞け！　中田敦彦（KADOKAWA）

本屋大賞を獲得した「蜜蜂と遠雷」（直木賞とのダブル受賞は史上初）が連続の１位

文庫本

①嫁入り 鎌倉河岸捕物控 30　佐伯泰英（角川春樹事務所）
②リバース　湊かなえ（講談社）
③山月庵茶会記　葉室麟（講談社）
④奪還の日－刑事の挑戦・一之瀬拓真　堂場瞬一（中央公論新社）
⑤キセキ－あの日のソビトー　小林雄次（朝日新聞出版）
⑥追憶　青島武（小学館）
⑦霧に棲む鬼 風烈廻り与力・青柳剣一郎　小杉健治（祥伝社）
⑧ヒア・カムズ・ザ・サン 東京バンドワゴン　小路幸也（集英社）
⑨出版禁止　長江俊和（新潮社）
⑩浮雲心霊奇譚 赤眼の理　神永学（集英社）

部数拡張強化月間
サービス期間 3/1(水)～5/31(水)
読者限定サービス
1件ご紹介で 2,000円
「プレス空知」の新規購読者を紹介いただけましたら１件につき謝礼金２千円をプレゼントします。２件なら４千円、５件なら１万円（ただし５か月以上の購読）になります。小遣い稼ぎ、サークルの活動費、新規購読者と折半するなど使い道はご自由です。
※謝礼は即時支払い。ただし、２か月未満で止めた場合は２千円を返還、２か月以上５か月未満は１千円の返還とさせていただきます。再契約の場合は、半年以上の据え置き期間が必要となります。
水曜と土曜の週２回お届け 1ヵ月1400円
連絡問合先
プレス空知岩見沢支社
岩見沢市９条東１丁目27-3
Tel(22)3700
Fax(20)2790

鉄スクラップ 非鉄金属
除雪機・軽トラック・125cc以下のバイク
現金買入!!
40tトラックスケール設置
持込み大歓迎!
パチンコ マルハン 岩見沢東店さん
そば処 福住さん
スクラップの長田商事
アクセスMAP
㈱長田商事 三笠営業所
三笠市岡山180番地2-4　TEL 01267-3-7400
●営業時間／8:00～17:00　●定休日／日曜日
本社 砂川市西6条北24丁目575番地
重さ・量などに応じて引き取りも可能です。
お気軽にお電話にてご連絡ください。

グループリビング　えみな
岩見沢市南町８条１丁目4-8
TEL.0126-20-1310　FAX.0126-20-1316
小規模多機能型居宅介護　えみな栄町
グループホーム　えみな栄町
岩見沢市栄町２丁目1-9
TEL.0126-32-2820　FAX.0126-32-2821
介護付有料老人ホーム　えみな幌向
岩見沢市幌向南3-3
TEL.0126-32-6600　FAX.0126-32-6601
利用相談随時受付
URL http://www.emina.co.jp
E-mail emina-k@emina.co.jp

Maruki Koutsu Co.,Ltd.　北海道運輸局長許可　許可番号 北自旅一第187号　一般貸切旅客自動車運輸事業
丸喜交通株式会社
お問合わせ先 ☎0125-23-1050 FAX0125-23-8535
お客様のニーズに合せて みなさまの「夢と安全」運びます。
グループ総数45台 大型バス30台 小型・中型バス15台
マイクロバス 28名乗
大型バス 51名～53名乗
観光・貸切バス事業
MASTER CABIN
一般貸切旅客自動車運送事業　北自旅－第187号
除雪排雪請負業　一般排雪及び運搬排雪
丸喜交通株式会社
本社：滝川市栄町3丁目7番13号
滝川営業所：滝川市流通団地1丁目4番28号
旭川営業所：旭川市台場１条４丁目1-1
関連会社
ホテル おいw川／丸喜商事／㈲TYサポート
自動車損害保険　生命保険　各種保険取扱業
〒073-0031 滝川市栄町3丁目7番13号
TEL(0125)23-2220
FAX(0125)23-3368
【グループ会社】
北都ベリアールサービス㈱
東京　ワールドキャビン
大阪　ワールドキャビン